

## 賢く使うということ

黒木藍那

伊里中学校では、11月21日から26日まで全校で「メディアスリム化大作戦」を実施する予定です。毎年伊里小学校と合同で行っているチャレンジですが、実は少しずつチャレンジ内容が変わってきています。今年は学習や勉強、分からないことを知るためなどに電子メディアを使用した時間のことを「メリット時間」と呼び、その他の目的で電子メディアを使用した時間と比較できるよう変更になりました。6月に実施したときは「漢字や英単語、数学の解き方、作詞者・作曲者の出生地を調べた」「アプリで問題演習をした」など様々な「メリット時間」の使用目的がチャレンジシートに書いてありました。実技教科も含めた定期テスト前に実施していたため、上手にメディアをテスト対策に活用していたようです。「メリット時間」に変更して初めてのチャレンジでしたが、自分たちで電子メディアの賢い活用方法を考えて実践できていました。

一枚一枚チャレンジカードを読んでいると、私が高校生のときに教科書やノートを写真に撮り、赤シートで隠せるアプリを使って暗記していたときのことを思い出しました。下敷きのような赤シート

を使っていなかったのは、満員電車の中で教科書やノートを広げるのが大変だったからです。しかし、SNSの通知が目に入ってしまったSNSアプリを開いたら最後、いつのまにか最寄り駅に着いていたこともしばしばありました。

ナイフが便利な調理器具にも人を傷つける道具にもなるように、電子メディアも本人の使い方次第です。生徒自身が前向きに、賢く使えるよう、生徒保健委員会を中心とした取組を行ってまいります。これからも本校の取組へのご協力をよろしくお願いいたします。